



支部だより

東北支部

岩手大学理工学部理工学科化学コース

岩手大学の改組

岩手大学は令和7年より5学部（人文社会学部、教育学部、農学部、獣医学部、理工学部）に改組しました。理工学部では1学科（理工学科）8コース体制となりました。入学選抜では化学クラスで入学していただくと2年次には化学コースに進学します。また、希望すれば（募集定員の10%を目安として）ほかのコースにも進級（コース変更）できます。化学以外のクラスに入学した場合でも2年次から化学コースへ進級できます。2年次より化学に関する専門教育を中心に行い、4年次より研究室に配属されます。

入学者の出身地は岩手県が半数を占めます。入試では、岩手大学以外に札幌会場を設け北海道からの入学者も多数おります。改組後では化学の配点を高くしましたが、少子化のため、入試では苦戦をしております。

理工学科化学コースの研究教育

新しい化学コースは、3つの分野そして8つの研究室からなります。具体的には有機・生命化学分野（医薬品化学研究室、天然物有機化学研究室、生物機能化学研究室）、エネルギー・環境分野（表面反応化学研究室、次世代電池工学研究室）、先端機能複合化学分野（先進機能高分子研究室、結晶工学研究室、無機材料

研究室）となります。各研究室の詳細は<http://www.chem.iwate-u.ac.jp/index.html>をご覧ください。また各研究室は大学院の総合科学研究科理工学専攻物質化学コース（修士課程）、理工学研究科自然・応用化学専攻（博士課程）とつながっております。大学院では、物質化学コースと自然・応用化学専攻では上記8研究室以外に環境化学/自然環境学研究室（学部は人文社会学部）も加わっております。

日本化学会ウェブサイトの本誌4月号別冊「大学院入試案内」のウェブ版を公開することにより、ここ数年、物質化学コースに関東や東北の他大学の化学系の学部生にも受験していただけるようになりました。大学院受験の詳細は同ウェブ版（<https://www.chemistry.or.jp/journal/2025daigakuin.pdf>）をご覧ください。

化学コースでの研究は、岩手地域の産業と密着した地域研究から、世界最先端の研究まで幅広く行い、技術者・研究者育成を行っています。学部生および修士の大学院生の多くは、関東および東北の製造業および地方公務員への就職を希望しています。

化学コースでは1年次よりキャリア支援の教育を充実させ、特に卒業生が働く企業との化学コース独自の企業説明会も低学年から行っています。セントラルサイエンスである化学は、様々な分野との接点があります。おかげさまで、卒業生

は希望の製造業に就職しております。

岩手地区の日本化学会会員増強に向けて

岩手大学には前述した理工学部以外に教育学部、人文社会学部、農学部にも化学の研究と教育を行う教員が多数おります。岩手地区では、岩手大学以外に一関高専にも日本化学会会員が、高校教員にも化学会会員が多くおります。9月に行われる化学系学協会を中心として岩手大学そして岩手地区のプレゼンスを示しています。

8月のオープンキャンパスでは北海道そして、東北6県の多くの高校生に参加してもらい、研究室見学や体験学習してもらっております。岩手地区のスーパーサイエンスハイスクールを中心とした高校生への教育活動も行っております。



〔2025年度東北支部幹事
白井誠之（岩手大学）〕

© 2025 The Chemical Society of Japan